

# RTR-61 専用温度センサ取扱説明書

## ■安全上のご注意

センサを人に向けてたり、目的以外で使用しないでください



ケガ注意!



センサの保護  
キャップを  
つけてください

本製品センサ先端部は鋭角になっており、人体や物に刺さる可能性があります。測定対象物以外への使用は絶対に避け、安全に保管してください。

測定直後はセンサ部分に触れないでください



温度注意!



触らないで!

高温または低温環境で使用、および使用直後にセンサ部分に手を触れると、やけどまたは凍傷になることがあります。

分解・改造・修理は自分でしないでください

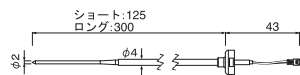


分解禁止!

故障の原因になります。

## ■温度センサ (オプションセンサ)

**一体型** (本体にセンサを直結するタイプです)



[単位: mm]

**RTR-6110**

ショートタイプセンサ (センサ部分: 125mm)  
価格: 8,000 円 (税込 8,400 円)

**RTR-6130**

ロングタイプセンサ (センサ部分: 300mm)  
価格: 10,000 円 (税込 10,500 円)

**分離型** (コードとグリップ付で湯気の中でも測定しやすいセンサです)



[単位: mm]

**RTR-6210**

ショートタイプセンサ  
(センサ部分: 125mm / コード部分: 900mm)  
価格: 15,000 円 (税込 15,750 円)

**RTR-6230**

ロングタイプセンサ  
(センサ部分: 300mm / コード部分: 900mm)  
価格: 17,000 円 (税込 17,850 円)

- センサ部分材質: ステンレスパイプ (SUS316)
- グリップ部分材質: ポリサルホン樹脂 (耐熱温度約 170°C)
- コード部分材質: テフロン樹脂電線
- 共通付属品: センサスペーサ 1 個 / ゴムパッキン 1 個 / 交換用工具 1 個 / センサ取扱説明書 (本書) 1 部

※テフロン®は米国デュポン社の登録商標です。

## ■製品仕様

測定範囲	- 25°C ~ 235°C	
温度センサ	サーミスタ	
測定精度	10°C以下	± 1.5°C
	40°C ~ 10°C	± 1.0°C
	40°C ~ 85°C	± 0.8°C
	85°C ~ 110°C	± 0.5°C
	110°C ~ 130°C	± 0.8°C
	130°C ~ 150°C	± 1.0°C
	150°C ~ 180°C	± 1.5°C
	180°C ~ 200°C	± 2.0°C
	200°C以上	± 2.5°C
測定・表示分解能	0.1°C	

■製品のお問い合わせ

株式会社 **ティアンドデイ**

〒390-0852 長野県松本市島立 817-1  
TEL: 0263-40-0131 FAX: 0263-40-3152

お問い合わせ受付時間: 月曜日~金曜日 (弊社休日は除く)  
9:00 ~ 12:00 / 13:00 ~ 17:00

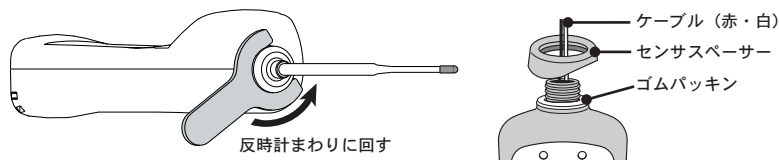
ホームページ <http://www.tandd.co.jp/>

2009.04 16004394210 (第2版)  
© Copyright 2006 T&D Corporation All rights reserved.

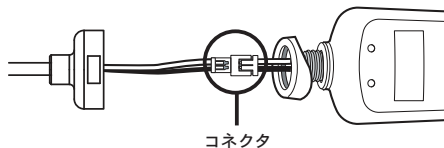
再生紙を使用しています。

## ■温度センサ交換の手順と注意事項

1. 付属の交換用工具をセンサの根元の溝に合わせセットし、反時計回りに回してセンサをゆるめます。ゆっくりとセンサを外してください。



2. RTR-61 の内部から接続コネクタを引き出します。

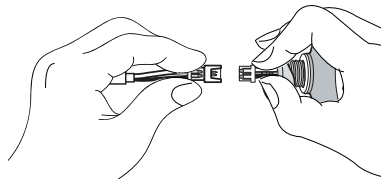


### ⚠注意

- 強く引っ張るとケーブルが断線する恐れがあります。

3. コネクタをしっかり持ち、外してください。コードを引っ張ったりしないでください。

4. 必要であればセンサスペーサーとゴムパッキンを交換し、交換するセンサのケーブルをコネクタに接続します。

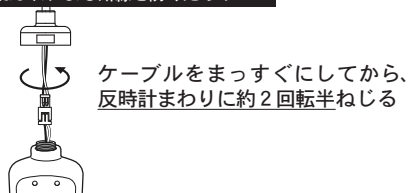


### ⚠注意

- コネクタは接触不良が起きないように、確実に接続してください。  
- 小さくパチンと感触があるまで差し込んでください。

5. 図のようにセンサを RTR-61 の内部にしまいます。

### ねじれによる断線を防ぐためのコツ



6. センサーを時計まわりにゆっくり回し、最後は必ず交換用工具を使って確実に締めてください。

### センサスペーサーのずれにご注意

RTR-61 の形状に合わせ、すき間ができないようにセットしてください。



### ⚠注意

- センサスペーサーのずれや、根元のゆるみは内部に液体や異物が入る原因になります。  
本体ケース内部に液体や異物が入ってしまった場合は、すぐに電池を抜き使用を中止してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。